

# 収益循環モデルの構築による「江差MaaS」実証事業(北海道江差町)

## 買い物×交通

### 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】江差町地域公共交通活性化協議会
- 【実施主体】江差町
- 【共創パートナー】サツドラHD（商業）  
 桧山ハイヤー（交通）他

### 地域課題

- 人口減少及び高齢化
- 高い自家用車依存度
- 交通空白地の増大化

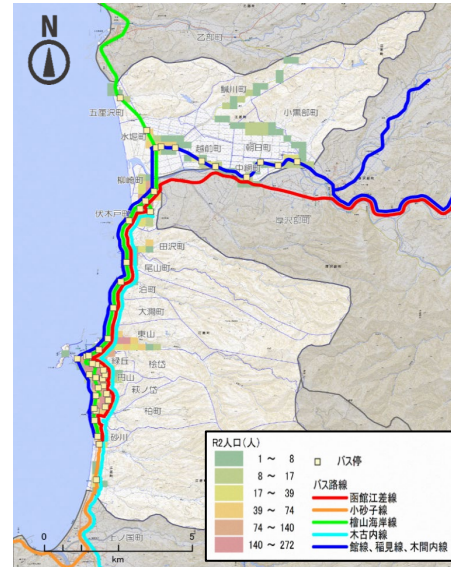
### 実証事業の内容

- 地域内交通の充実化のため、既存交通である路線バスを補完する「AIオンデマンド交通」の実証運行の実施。
- 地域オリジナルのポイントカードとして高い普及率を誇っている「江差EZOCA」が採用している買い物金額の一部が町に還元される「地域還元モデル」を活用した「収益循環モデル」を構築。
- EZOCAカード（江差EZOCAを含む）による電子決済の導入に伴い、「AIオンデマンド交通」の利用による同カードへのポイント付与を実施。
- 「江差マース」の本格運行に向けて、本実証事業の利用実績等を踏まえた「収益循環モデル」の実現性についての検証。

### 今後の展開

- 令和6年度での本格運行開始を予定。
- 本格運行に合わせて、本実証事業で検証する協賛金・広告宣伝費等の本格導入のため、協賛企業を募集。

### 事業実施区域



### 事業体制

